

ヨーロッパ吹奏楽譜入門

編集 小澤俊朗

〒104 東京都中央区銀座7丁目9番14号

日本楽器銀座店楽譜係

電話 東京 572 — 3 1 3 6

管弦楽の編成は、ハイドンの時代に基礎が築かれ、現在では世界的に共通な定形が確立され発展をみせている。だが吹奏楽の場合は、編成を構成する管楽器自体がそれぞれの国により異なった開発をされてきた為に、その統一が出来ないまま今日に至っている。

編成形態は大きく次の3つに分けられる。

- <フランス式>
- ・Sax を重要視
 - ・C管トランペット
 - ・木管・金管が3対1
 - ・サクソルン属を多用

木管を中心に多様な楽器を組み合わせ、色彩豊かでオーケストラ的、大編成でその特徴が最大限に生きる。

- <ドイツ式>
- ・木管・金管が1対1
 - ・アルトトランペット、バストランペット
 - ・オーストリア、チェコ EbではなくF管のTuba
 - ・コルネットではなくフリューゲルホルン
 - ・Sax はあまり重要視せず

金管が中心なため力強く、男性的であり、小編成でも演奏効果は上がる。

<アメリカ式>

フランス式を基に金管楽器を合理化したもの。アメリカでは編成だけに留まらず作曲、出版、指導法、楽器製作など研究確立され、スクールバンドを中心に非常な発展を遂げた。

我が国では戦後、このアメリカ式を勉強することからスタートし、今日の素晴らしいスクールバンドへと成長した訳である。一方、ヨーロッパでは、編成、記譜法、使用楽器など統一されないまま今日を迎え、吹奏楽の世界的規模での発展を阻害しているわけであるが、逆に民族性を残し、それぞれのお国柄を色濃く残しているという現状を生んでいる。ギャルド吹奏楽団の木管を中心とした管弦楽を思わせるシンフォニックな響き、ローマカラビニエーレ軍楽隊の明るく多彩なサウンド、ドイツの力強く豪快な行進曲、スイスやオーストリアのポルカや素朴な舞曲、スペインのパソドブルなどはバンドのレパートリーとしても魅力的である。これらヨーロッパの吹奏楽譜はまだ余り慣じみがあるとはいえないし、楽器名の読み方、読譜などに解決しなくてはいけない問題を含んでいるが、この古くて、新しいサウンドにチャレンジし、楽しんでみてはどうだろうか。ここではヨーロッパの楽譜を楽しむために編成、楽器の呼び方、代替楽器の使用法などについて書いてみよう。

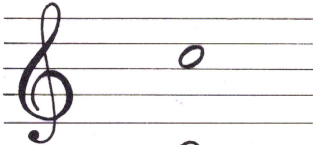
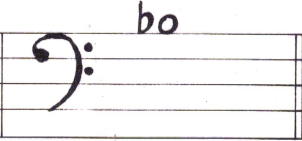
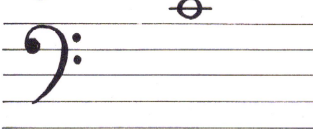
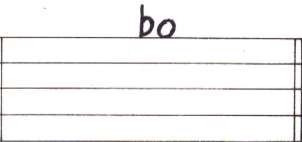
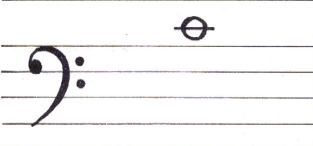
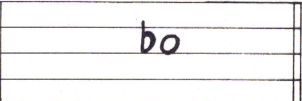
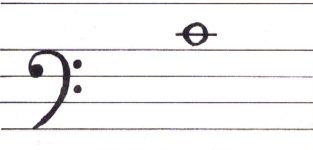
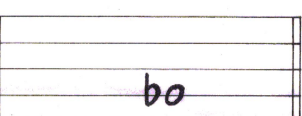
◎サクソルン属

サクソフォーンの発明で知られるベルギーの楽器製作家、アドルフ・サックスが考案したホルン系の金管楽器で、ソプラニーノからコントラバスまで音性が統一された音域を持っている。

(Eb、Bb フリューゲルホルン、アルトホルン、バリトン、小バス、中バス、大バス)

◎移調式記譜法

サクソフォーンセクションなどの記譜法と同じで、その楽器の持つ音階に準じて記譜する方法。中、低音金管楽器の記譜法にヨーロッパで採用されている。日本やアメリカ式は実音式。

	移 調 式	実 音 式
Bb バリトン		
Bb ユーフォニウム		
Eb バス		
Bb バス		

FRANCE (Durand, Leduc, Robert Martin)

編 成 楽 器	楽 器 名	代替楽器及び移調の必要なもの(*),その他
Petite Flûte en Ré ^b	Piccolo in D ^b	* in C
Grande Flûte en Ut	Flute in C	
Hautbois en Ut	Oboe in C	
Cor Anglais en Fa	English horn in F	* E ^b Alto Sax
Basson en Ut	Bassoon in C	
Sarrussophone ou Contrebasson en Ut	Sarrussophone or Contrabassoon in C	Contrabass Cl. or Basses
Petite Clarinettes Mi ^b	E ^b Clarinet	
Clarinettes Si ^b	B ^b Clarinet	
Clarinettes Altos	Alto Clarinet	2 パート
Clarinettes Basses	Bass Clarinet	2 パート
Clarinettes Contrebasse	Contrabass Clarinet	String Bass or Basses
Saxophones Soprano Si ^b	B ^b Soprano Saxophone	
Saxophones Altos Mi ^b	E ^b Alto Saxophone	2 パート
Saxophones Ténors Si ^b	B ^b Tenor Saxophone	2 パート
Saxophones Barytones Mi ^b	E ^b Baritone Saxophone	2 パート
Saxophones Basse Si ^b	B ^b Bass Saxophone	
Cornets à Piston Si ^b	B ^b Cornet	
Trompettes Ut	C Trumpet	* in B ^b
Trompettes Si ^b	B ^b Trumpet	どちらか一方を使用する
Cors	F Horn	
Trombone en Ut	Trombone in C	
Trombone en Si ^b	Trombone in B ^b	どちらか一方を使用する
Bugles Mi ^b	E ^b Flugel horn	E ^b Cornet or *B ^b Cornet
Bugles Si ^b	B ^b Flugel horn	B ^b Cornet
Alto	E ^b Altohorn	* F Horn
Baryton	B ^b Baritone	Euphonium
Basse (en Si ^b)	Bass in B ^b (小バス)	* Euphonium
Contrebasse (C. Basse) Mi ^b	EE ^b Bass	* in C
Contrebasse (C. Basse) Si ^b		
Contrebasse à Cordes	BB ^b Bass	* in C
Batterie	String Bass	
Timbales	Percussion	
	Timpani	

- (1) 木管楽器、特にクラリネットセクションが充実している。(大編成では20～25名)
- (2) サクソルン属を採用している。金管が太い豊かな響きになる。
- (3) 金管、低音楽器が移調式記譜を採用している。
- (4) 完全なサクソフーンセクションとサクソルン属を採用しているため、Cℓ の低音はあまり重要視していない。
- (5) ユーフォニウムではなく小バスを採用している。
- (6) クラリネットセクションは輪郭のはっきりした高音部を作るのに不可欠で、Eb Cℓ は2部で書かれている場合が多く、理想的には2名、少なくとも1名は欲しい。無い場合はFℓ や Bb Cℓ で補うこと。

Solo Cℓ は2部に分かれているが、オーケストラ的に2名で良い。Bb Cℓ は1st、2ndに分かれ、1st Van 2nd Van に相当し、出来るだけ多数欲しい。(ギャルドでは1st 12名 2nd 10名)

- (7) Bass Cℓ は2部に分かれている場合が多いが、他のパートと重なっていることが多い。
- (8) 古いスタイルの中にはBassoonが無いものや ad lib になっているものもあり、小バスのパートが受けもっていることがある。管弦楽の編曲作品は原曲を研究し、Bassoon パートを作ると良い。

ITALY (Ricordi)

編 成 楽 器	楽 器 名	代替楽器及び移調の必要なもの(*、その他)
FLAUTO in Do	Flute in C	
CLARINETTI PICCOLO in Mi ^b	E ^b Clarinet	
CLARINETTI SOPRANI in Si ^b	B ^b Clarinet	
SAXOFONI SOPRANO in Si ^b	Soprano Saxophone	
SAXOFONI CONTRALTO in Mi ^b	Alto Saxophone	
SAXOFONI TENORE in Si ^b	Tenor Saxophone	
SAXOFONI BARITONO in Mi ^b	Baritone Saxophone	
CORNI in Mi ^b	Horn in E ^b	* in F
CORNETTE in Si ^b	Cornet in B ^b	
TROMBONI TENORI	Trombon in C	
FLICORNI SOPRANINO in Mi ^b	Flügel in E ^b	E ^b Cornet or *Oboe
FLICORNI SORPANI in Si ^b	Flügel in B ^b	B ^b Cornet
FLICORNI CONTRALTI in Mi ^b	Alto in Eb	* Horn in F
FLICORNI TENORE in Si ^b	B ^b Baritone (記譜は実音式)	
FLICORNI BARITONI in Si ^b	B ^b Euphonium (記譜は実音式)	
FLICORNI BASSI GRAVI in Fa	F Bass Tuba (記譜は実音式)	EE ^b Bass
FLICORNI CONTRA BBSSI in Si ^b	BB ^b Bass (記譜は実音式)	BB ^b Bass

- (1) イタリアのバンドはローマ憲兵軍楽隊にみられる様に完全な楽器編成を持ち、各楽器群がソプラノからバスまでカヴァーしている。このためその演奏は色彩的で荘麗、パイプオルガンにも匹敵する響きを持っている。反面楽器の種類は世界一多く、スコアは複雑になり、専門的で一般的ではない。
- (2) 楽譜も大・中・小編成で出版されているが互換性はない。
- (3) イタリアといえばオペラ、カンツォーネという位美しい旋律の宝庫であり、これら有名なオペラのセレクションや民謡がバンド用に編曲され出版されている。
- (4) 大編成では余り大きすぎて日本のバンドには向かないが、中編成では Oboe、Bassoon、Bass Cl などのパートが無く、逆にサクソルン属は完全なパートが要求される。
- (5) Oboe はソロの多い Eb Flugelhorn のパートを移調して演奏する。
- (6) Bassoon、Bass Cl のパート譜は、Baritone、Euphonium から作る。
- (7) Baritone、Euphonium、Bass は in C (実音式) で書かれている。

HOLLAND (Molenaar)

編 成 楽 器	楽 器 名	代替楽器及び移調の必要なもの(*)その他
Piccolo in D ^b	D ^b Piccolo	* in C
Flute in C	C Flute	
Hobo in C	Oboe	
Fagot (Bassoon)	Bassoon	
Klarinet in E ^b	E ^b clarinet	
Klarinet in B ^b	B ^b Clarinet	
Bas Klarinet in B ^b	Bass Clarinet	
Saxofoon Alt in E ^b	E ^b Alto Saxophone	
Saxofoon Tenor in B ^b	B ^b Tenor Saxophone	
Saxofoon Bariton in E ^b	E ^b Baritone Saxophone	
Bugel in B ^b	Flügelhorn	B ^b Cornet
Cornet in B ^b	B ^b Cornet	
Trompet in B ^b	B ^b Trumpet	
Alto in E ^b	Altohorn (E ^b Horn)	* Horn in F
Cor in E ^b	Horn in Eb	* in F
Baryton in B ^b (Tenorhoorn)	Baritone	Euphonium
Trombone in C (Posaune)	Trombone	
Baryton in C (Euphonium in Ut)	Euphonium	
Bässe in C	Bass in C	

- (1) 現在オランダのバンドは、フランスの大編成程はなく、日本のバンドと似ていてアメリカ式に近い。
- (2) Molenaar (モレナール) 出版社は、フランス、スペイン、ドイツ、アメリカなど幅広く外国の楽譜を出版している。最近の楽譜は基本的にその国のスタイルを保ちながら、インターナショナルな展開が出来る様に編成が工夫されている。
- (3) 基本的にはフランス式を採用しているために同じ特徴を持っている。
- (4) Altohorn と Horn のパートを Horn 4 本で演奏する場合、1 st Al → 1 st Hr、2 nd Al → 3 rd Hr、1 st Hr → 2 nd Hr、2 nd Hr → 4 th Hr にすると バランスが良い。

SPAIN (Piles Editorial de Musica)

編 成 楽 器	楽 器 名	代替楽器及び移調の必要なもの(*その他)
Flautin	Piccolo	
Flautas	Flute	
Oboes	Oboe	
Corno Inglés Fa	English horn in F	Alto Sax
Requintos Mi ^b	E ^b Clarinet	
Clarinetes Si ^b	B ^b Clarinet	
Clarinetes Altos Mi ^b	E ^b Alto Clarinet	
Clarinetes Bajos Si ^b	B ^b Bass Clarinet	
Saxófonos Sopranos Si ^b	B ^b Soprano Saxophone	
Saxófonos Altos Mi ^b	E ^b Alto Saxophone	
Saxófonos Tenores Si ^b	B ^b Tenor Saxophone	
Saxófonos Baritonos Mi ^b	E ^b Baritone Saxophone	Contrabass Clor Tuba
Saxófonos Bajo Si ^b	B ^b Bass Saxophone	
Fagotes	Bassoon	Contrabass Cl. or Tuba
Contrafagot	Contrebassoon	* B ^b Trumpet
Trompetas Do	C Trumpet	
Trompas Fa	F Horn	E ^b Cornet or *B ^b Cornet
Fliscornino Mi ^b	E ^b Flugelhorn	B ^b Cornet
Fliscornos Si ^b	B ^b Flugel horn	* Horn in F
Onóvenes Mi ^b	E ^b Alto horn	Euphonium
Baritonos Si ^b	B ^b Baritone	
Bombardinos Do	C Bass (Euphonium)	] Bases in C
Tuba Mi ^b	EE ^b Bass Tuba	
Tubas Do	C Bass Tuba	Euphonium
Violoncelos	Cello	
Contrabajos de Cuerda	String Bass	
Timbales	Timpani	
Percusión	Percussion	

(参考)

Principales	→	Solo
Primeros	→	1st
Segundos	→	2nd
terceros	→	3rd
y	→	& (and)

- (1) 市民バンドが盛んなスペインでは、大編成のオリジナルや編曲作品からパソドブルなどの小編成のものまで出版されている。
- (2) 基本的には、フランス式を採用しており、充実したクラリネット、サックスセクションを中心に、完全なサクソルン属と、チェロ、ハープなどを加えオーケストラ的な内容を持っている。

GERMANY ・ AUSTRIA (Bote & Bock, Helbling, Schott)

編 成 楽 器	楽 器 名	代替楽器及び移調の必要なもの(*;その他)
Gr. u. kl. Flöte	Flute & Piccolo	
Oboe	Oboe	
Klarinette in Es	E ^b Clarinet	
Klarinette in B	B ^b Clarinet	
Alt-Saxophon in Es	E ^b Alto Saxophone	
Tenor-Saxophon in B	B ^b Tenor Saxophone	
Bariton-Saxophon in Es	E ^b Baritone Saxophone	
Fagott	Bassoon	
Trompete in B	B ^b Trumpet	
Trompete in Es	E ^b Alto Trumpet	E ^b Alto horn
Piston in Es	E ^b Cornet	* B ^b Cornet
Waldhorn in Es	Horn in E ^b	* in F
Posaune	Trombone	
Flügelhorn in B	B ^b Flügelhorn	B ^b Cornet
Tenorhorn in B	Baritone	
Bariton	Euphonium	
Baßtuba I	1st Bass in C	EE ^b Bass
Baßtuba II	2nd Bass in C	BB ^b Bass
Kleine Trommel	Snear Drums	
Gr. Trommel (mit Becken)	Bass Drum (Cymbale)	
Pauken	Timpani	
Glockenspiel	Glocken	

- (1) Bass Cl のパートが無い場合は、Bassoon、Baritone などからパートを作る。
- (2) 中音域の金管セクションが充実していて力強いサウンドが得られる。反面色彩的な演奏するには木管、金管のバランスに注意しなくてはならない。
- (3) Trompete in Es は Alto Trumpet のことで Alto horn 又は B^b Trumpet の低音域と Trombone で代用出来る。
- (4) Tenorhorn in B は Baritone で演奏するが、3 部に分かれている為に、Trombone のパートと照合して対処すること。又、Euphonium で 3 部に分けると合奏音が重くなるので注意。
- (5) 1st Bass は普通 F Bass Tuba で演奏するが、無い場合は、E E^b Bass や B B^b Bass でも可能である。